

その中で将来の人口動向も見通しつつ、特に市街化調整区域で整備すべき区域を検討したい。なお、現在、人口集中地区でありながら下水道が未整備の約二千軒について重点的に整備を進めている。

JR庭瀬駅南改札口設置へ

問 JR庭瀬駅南改札口の設置に向けて、整備内容は、自転車や自動車等への対策は、
答 自動改札機、上屋、ホ

ームへの階段などを計画しており、北口の自動改札化に併せて設置できるようJRに要請している。自転車への対応として、駐輪場の整備を計画しており、現在、JRと協議を進めている。自動車への対応については、アクセス道路が狭く、送迎車両の生活道路への進入が懸念されるため、地域住民の意見を聞きながら、転回スペースや安全施設の設置など必要な対策を講じていきたい。

防災・環境



**耐震化率向上へ
改修促進計画を策定**

問 耐震補強への補助制度がありながら促進されない原因は、建物所有者の自己負担が困難なためと考えるが、耐震化率向上に向けた取り組みと今後の方針は。
答 市ホームページやパンフレット、広報紙等により耐震診断の必要性を啓発するとともに、平成14年度から耐震診断補助事業を実施している。

耐震化率向上には耐震改修補助制度の整備が前提となることから、19年度には県の計画をもとに、市耐震改修促進計画を策定する予定だ。

粗大ごみ収集方法の改善策

問 粗大ごみについて、効率性、経済性に優れた収集方法への改善策は。
答 平成18年度から戸別収集時の個数を五個から十個に増やすとともに、持ち込み予約



サービス充実と経費節減の両立を目指して粗大ごみの収集車

を希望日の三日前から前日に改めることで市民サービスの向上に努めている。19年度からは、戸別収集時の「内容確認はがき」を廃止すること、および旧市内の委託収集区域を五地区から一地区に統合し、一業者による合理的な収集体制に改めることで、経費の削減を図りたい。

西消防署

平成20年度開署へ

問 消防・救急体制について西消防署設置に向けたスケジュールは、現在の庭瀬出張所の取り扱い。
答 現在実施設計を行って

おり、平成19年度に工事に着手し、20年度中の開署予定である。西消防署の機能と管轄範囲、政令市移行に合わせ設置する行政区の区割りや区役所の構想、さらに全市的な観点から総合的に検討したい。

御津虎倉地内における産廃処理施設建設計画

問 御津虎倉地内産業廃棄物処理施設の設置計画について、条例に基づく審査会の審議状況は。
答 焼却施設の構造耐力や環境アセスメント評価のほか、最終処分場については、廃棄物の受け入れ計画、地盤強度、耐震強度、遮水シートの安全性、事故時や災害時の対策などが議論されたが、引き続きより詳細な説明を受けることとしている。現在、審査会委員の質問や資料請求に対して、計画者から回答が提出され、

市でその内容を精査している。硫酸ピッチ不適正保管問題
行政代執行への経緯

問 市内竹原で不適正に保管されていた硫酸ピッチを行政代執行により撤去した経過は。
答 関与者に対し全量撤去と適正処分を求めてきたが、関与者が拘留中であるため撤去が進まず、ドラム缶の腐食により周辺環境への影響も懸念されていた。その後、行政代執行を視野に(財)産業廃棄物処理事業振興財団へ原状回復の協力を要請し、倉庫での保管が限界に近づいたことから、平成19年1月5日に行政代執行を決定し、2月27日に着手した。



硫酸ピッチ撤去作業の様子